

定 例 記 者 会 見 資 料

日時 令和5年1月26日（木）10：00～

場所 白石市防災センター2階 大会議室

1. 白石産ササニシキ純米酒「SASA秋天」販売
2. （仮称）白石中央スマートインターチェンジの進捗状況について
3. 白石みらい教育基金について

【記者会見の動画配信について】

記者会見の様子を記者会見終了後に動画配信させていただきます。  
記者の皆さまもご理解願います。

白 石 市



白石でしか味わえないお酒

2月4日 発売

おもしろいし市場 プライベートブランド  
純米酒

**SASA** しゅうてん  
秋天



白石産「ササニシキ」を使用し  
白石が誇る「蔵王酒造」が醸造  
白石の農産物直売所が販売する  
純米酒「SASA 秋天」誕生。

同時発売  
**SASA** 秋天  
— 生酒 —  
3周年記念限定酒

原材料名／米（国産）、米麴（国産米）  
精米歩合／65%  
アルコール分／16度 内容量／720ml  
製造者／蔵王酒造株式会社  
宮城県白石市字東小路120-1

販売 / 白石市農産物等販売施設「おもしろいし市場」宮城県白石市福岡長袋字八斗蒔 20-1

TEL 0224-26-9778

Twitter : omoshiro5106

HP : <http://www.sunpark.jp/>

Instagram : omoshiro1019

令和5年1月 記者会見資料

## (仮称)白石中央スマートインターチェンジの進捗状況について

担当：建設部都市創造課

### 1. (仮称) 白石中央スマートインターチェンジ

令和2年10月、白石市のヒト・モノの流れを生み出す施策として進めている「(仮称)白石中央スマートインターチェンジ」は、整備の必要性を認められ国から新規事業箇所に採択されました。

令和3年度より東日本高速道路株式会社との協定に基づき、(仮称)白石中央スマートインターチェンジの測量設計を実施しており、地元説明会での意見を反映しながら測量設計を進め、一部の測量を除き令和4年度中の完了を予定しております。

今後、測量設計が完了した後、令和5年度より用地契約を進め完了後に工事発注の手続きを行う予定にしております。

(仮称)白石中央スマートインターチェンジが整備されることにより、東北縦貫自動車道のさらなる有効活用が図られ、新たな企業誘致の実現や企業活動の支援をはじめ、中心市街地の活性化や観光振興など、さまざまな効果が期待できることから関係機関と連携し早期完成を目指してまいります。

### 2. (仮称) 白石中央スマートインターチェンジ周辺整備事業

スマートインターチェンジの整備効果を最大限に発揮するための周辺施設整備については、令和3年9月に「(仮称)白石中央スマートインターチェンジ周辺整備基本計画」を策定し、「工業団地」「道の駅」「スポーツレクリエーション施設(防災公園)」の3つの拠点整備を目指すことにしております。

「工業団地」については、昨年12月に地権者へ用地契約などに関する説明会を開催しており、令和4年度中に用地契約及び仮登記を進め完了後に企業募集を開始する予定にしております。

「道の駅」及び「スポーツレクリエーション施設(防災公園)」については、昨年8月に「しろいしの魅力発信・地域と文化の交流による 新たな価値を創造する地域防災拠点」をコンセプトとした「(仮称)道の駅しろいし基本計画」を策定し事業を進めております。

事業手法として民間事業者の創意工夫を最大限取り入れる「PFI方式」で行う予定としており、令和5年度中の事業者募集に向けて準備を進めています。

また、道の駅については令和4年度中に用地契約を進め、完了後に造成工事に着手する予定となっております。

## 白石みらい教育基金について

担当：教育委員会学校管理課

本市では、子どもたちが安心して「教育を受けることができる環境」をつくるとともに、子ども自身が「変化に柔軟に対応して自ら未来を切り拓き、社会を生き抜く力を身に付け、高い志を持って可能性に挑戦できる力」を育成する教育の充実に必要な資金の財源に充てることを目的として「白石みらい教育基金」を設立しました。

令和5年4月に開校を予定している不登校特例校「白石きぼう学園」は、「学校らしくない学校」をコンセプトとしていることから、設備・備品や人員など既存の学校とは異なる対応が必要になります。

また、多くの企業や団体、地域の皆様からの支援を通じて、不登校に悩む児童生徒に『みんな応援している、支えている』というメッセージを送りたいと考えております。

不登校となっている児童生徒や保護者の不安を少しでも期待に変え、個々に寄り添い、だれ一人取り残さない「きぼう」となる学校づくりの推進に向け、子どもたちの「みらい」を描くための基金として活用させていただきます。